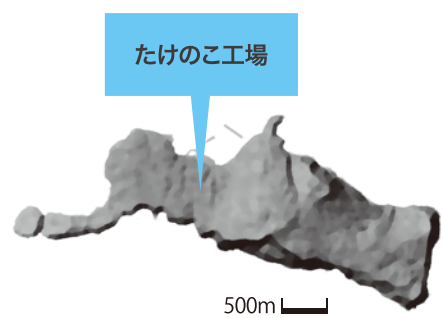




6



竹島地区六〇代男性
「最盛期は缶詰作業が深夜におよぶことがありました。いまでもシーズンには夜7時まで残業することがあります。工場の機械は修繕して使っています。硫黄島の機械も回収して直しました。一から作れば数百万円する特注品です。今は購入希望者を募って、その数をもとに収穫と製造をしています。」

思い出話

竹島のたけのこ工場は一九七八年に完成。以来、毎年五月中旬から六月末まで操業している。工場の完成後は竹林の造成と管理をして缶詰の生産量が上がった。水煮缶は二期、硫黄島のホテルへも出荷していたという。当時は島をまたぐ経済の流れができていた。しかし、人口減少やホテルの撤退、海外産たけのこの流通などで規模は徐々に縮小している。そうしたなか、竹島は現在も工場を補修しながら稼働させている。

竹島

たけのこ工場

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1 ● 旧 4/28
2 ● 旧 4/29	3 ● 新月 旧 5/1	4 ● 旧 5/2	5 ● 旧 5/3	6 ● 旧 5/4	7 ● 旧 5/5	8 ● 旧 5/6
9 ○ 旧 5/7	10 ○ 上弦 旧 5/8	11 ○ 旧 5/9	12 ○ 旧 5/10	13 ○ 旧 5/11	14 ○ 旧 5/12	15 ○ 旧 5/13
16 ○ 旧 5/14	17 ○ 満月 旧 5/15	18 ○ 旧 5/16	19 ○ 旧 5/17	20 ○ 旧 5/18	21 ○ 旧 5/19	22 ○ 旧 5/20
23 ○ 旧 5/21	24 ● 旧 5/22	25 ● 下弦 旧 5/23	26 ● 旧 5/24	27 ● 旧 5/25	28 ● 旧 5/26	29 ● 旧 5/27
30 ● 旧 5/28						